

## くも膜下出血の治療のために受診中あるいは受診経験のある 患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経外科では、上記の病気で受診された方の〔検体や〕診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

**本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。**

### 【研究課題名】

クラゾセンタン導入前後でのくも膜下出血の治療成績の比較、検討

### 【研究の背景と目的】

くも膜下出血は非常に重篤な疾患であり、治療として破裂動脈瘤に対して開頭術または血管内治療が選択されます。くも膜下出血における治療後の状態に影響する合併症として脳血管攣縮が知られています。2022年8月より新規の脳血管攣縮治療薬としてクラゾセンタンが導入され、当院でも使用を開始しました。本研究ではクラゾセンタン導入前後での治療成績を検討するため、くも膜下出血に対して脳血管内治療を行った患者さんのカルテを調査しクラゾセンタンの有用性を確認します。

### 【対象となる方】

2013年4月から2025年3月までにくも膜下出血に対して脳血管内治療を受けた患者さんで施行後1ヶ月以上の経過観察が可能であった方

### 【使用する診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

性別、年齢、既往歴、喫煙歴、症状、動脈瘤サイズ、動脈瘤部位、術後MR I 所見、血管造影検査所見、合併症の有無（症候性血管攣縮、正常圧水頭症）、1ヶ月後の状態  
なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

### 【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日（2025年4月25日）から2026年3月31日まで実施され、292名の患者さんが対象となっています。

### 【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

### 【データの保管】

この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないよう厳重保管され、研究の中止あるいは終了後 5 年または最終公表 3 年のいずれか遅い日まで保管された後、適切に破棄されます。

### 【結果の公表】

この研究の研究成果は学術誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

### 【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 鈴木 亮太郎 (講師)

### 【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 担当者：鈴木亮太郎 (講師)

電話番号：048-965-8682 (医局直通) 受付時間 平日 9時～14時

以上